

---

## ● 営業マンレポート ●

---

★ 松尾 幸一 担当エリア：道東地区 ★

### 【担当営業から】

釧路で営業を担当する入社 27 年目の松尾と申します。

札幌から函館、帯広、釧路と経験してまいりましたので、このメルマガをご覧いただいている道東地区以外の方にも、私が随分お世話になった方がきっといらっしゃると思っております。

趣味はゴルフを少々。冬の間のため込んだ脂肪を燃やすべく、今シーズンも少ない休み（会社への愚痴ではありません）をフル活用して駆け回ります。

私の自己紹介はさておき、今回は釧路地区における中核病院の一つである釧路赤十字病院様をご紹介します。

当社とはお付き合いも多く、X線TV、一般撮影装置はもちろん CT、MR、RI、アンギオ等の撮影機器、RIS/PACS についても東芝装置をお使いいただいているお客様です。CT は 2011 年から Aquilion PRIME の北海道内 1 号機が稼動しております。

【お客さま紹介】 総合病院釧路赤十字病院 北海道釧路市新栄町 21-14

ホームページ：<http://www.kushiro.jrc.or.jp/>



【お客さまインタビュー】 総合病院釧路赤十字病院 放射線科技師長 工藤 武志 様

### ➤工藤様の経歴を教えてください

1980 年 弘前大学医療技術短期大学部 卒業

同年 釧路赤十字病院 入職

現在に至ります。



## ➤病院の特色を教えてください

小児救急医療拠点病院、総合周産期母子医療センターの指定を受け、釧根地区の小児科・産婦人科医療の拠点病院であるほか、地域では急性期医療も担う全489床の総合病院です。

放射線科ではCT、MRI、RI、アンギオをはじめTV2部屋、一般撮影5部屋、さらに超音波装置、骨密度測定装置等を含め、診療放射線技師15名が担当しています。

## ➤これまで使用されたCTについて教えてください

CTについては生粋の東芝ユーザーです。長いお付き合いで、古くはTCT-60A、その後はTCT-900Sが10年以上も活躍していました。そのあとを継いだAquilion16から一昨年Aquilion PRIMEへと機器更新をしました。

## ➤検査内容とAquilion PRIME導入の経緯について教えてください

胸腹部がメインです。時々小児の撮影が入る以外は特殊な撮影は行っていません。本当はCTが複数台あれば良いのですが、残念ながら当院は1台体制であり、多い日で約60件の検査をこなします。内、造影検査は約半分です。少しでもパフォーマンスが高くスループットを向上できる装置を求めて、PRIMEを選定しました。期待に応じて安定稼動してくれています。



## ➤東芝への要望、期待することなどありましたらお願いします

まずは今後も手厚いサポート、メンテナンス体制を期待しています。当院に東芝装置が多い理由は何よりこの点において、釧路のサービスセンタだけではなく、近隣のサービスセンタや札幌からの支援、アプリケーション担当の方々を含めた、迅速なチームワークへの昔から変わらぬ信頼にあります。

CTに関してはインターフェースが一貫しており、Aquilion16から更新の際も、画面や使い勝手の違和感もなく移行できました。ただ当院ではMR、アンギオ、PACS等も東芝装置です。他のモダリティ機器とも、プラットフォームを共通化するなりして、総合メーカーとしてのトータルメリットをもっと提供して欲しいですね。

PRIMEは画質、スピードにも満足していますが、たとえば以前のCTに比べますとガントリのルックガイドが耳の聞こえづらい患者さんに非常に説明しやすくなったなど、カタログにないような小さな進歩も担当技師から大変好評です。こういったユーザー志向の細かい作り、被ばく低減への真摯な取り組みなど、良い意味での国内メーカーらしさに今後も期待しております。



## ➤北海道CT遠友ser会に期待することをお願いします

世話人になられ、発足に携わりました皆様方や東芝メディカルシステムズの方々に感謝申し上げます。

以前に比べますと、やはり私共は情報交換や学ぶ場を求めて札幌や東京へ足を運べる機会が少なくなったといわざるを得ません。

多くの情報を発信していただくことで、我々の技術向上の機会や刺激になって下されば、また、東芝さんとのパートナーシップが更

に深まり、皆様方との距離が身近に感じられれば幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。